



Subaru

ニュース739

'20. 8. 19

男声合唱団

# 戦後 75 年の盂蘭盆・猛暑の 1 日 「昂」レッスン(B班・A 班)開催!

8月16日



□8月16日(日)厳しいコロナウイルス感染禍の猛暑のお盆の1日、昂はB班が1時から、A班が3時から各2時間のレッスンを開催しました。

参加者は、まず検温・アルコールでの手洗い消毒、マスク着用で、出入り口と窓の換気・通風を行っている部屋に入室し、レッスンに備えました。

## □B班のレッスン (13:00~15:00)

レッスン曲:「懐かしのケンタッキーの我が家」「草競馬」「昂はうたう」「教えられた大切なもの」

参加者は全17名 (T1:7名、T2:3名、BR:3名、BS:2名+指揮:本並先生+ピアノ伴奏:中村聖保さん)

立川さんの体操・中村先生のヴォイストレーニングにはじまり、本並先生の指揮のもと、「懐かしのケンタッキーの我が家」を30分にわたりレッスンし、15分余りの休憩・換気を行いました。

□「ケンタッキーの我が家」はB班は7月31日(金)に続いて、2回目のレッスン。前回の指揮者の注意事項をふまえ、再度、ことばの表現を美しく、曲想に合った声で! 大事なフレーズの箇所を指揮者が、”このように歌おう!”と、自ら歌い模範を示しました。音程・リズムを正しく、間違いなくハモッテいるか? 何度も音合わせの繰り返しレッスンとなりました。

□休憩・窓の換気を15分。立川事務局長からの報告・連絡。休憩を終わり10分ほどの時間、千秋さん作詞・森二三さん作曲「教えられた大切なもの」の歌唱指導を受け、コロナウイルスが私たちに大切なことを教えてくれている！とのメッセージ曲を歌いました。

□休憩後、本並先生の指揮で、「草競馬」をレッスンしました。B班は7月31日（金）に41小節までレッスンしましたが、今日は最後まで歌いました。リズム・テンポよく合わせていきましょう！

□最後に「昴はうたう」をレッスンしました。第13回コンサートの「第3部」の最後から2番目に歌う曲。団員みんなで作詞の案を出しあい、千秋さんが作詞し、森さんが作曲、そして2019年大阪うたごえ創作発表会で「昴の創作曲」として発表した曲。私たち「昴」団員の気持ちを表現している歌！生きている私たちの心の表現！昴の持ち歌として、「しみりと歌おう！」と指揮者はこの歌への「ひとことアドバイス」を伝えました。

※「関西合唱団」がコンサートの最後にいつも歌っている愛唱歌「みんなのうた」のようにうたいたい・・・「しみりと・・・」

### □A班のレッスン：（15：00～17：00）

レッスン曲：「見上げてごらん夜の星を」「U Boj!」「死んだ男の残したもの」「朝露」「教えられた大切なもの」

参加者は全19名（T1：5名、T2：3名（本並先生含む）、BR：6名、BS：2名+指揮：伊藤さん ピアノ伴奏：森二三さん+ボイストレーナー：中村聖保さん



立川さんの体操・中村先生のヴォイストレーニングのあと、伊藤副指揮者の指揮のもと、「見上げてごらん夜の星を」「U Boj!」を30分にわたりレッスンし、15分余りの休憩・換気を行いました。

A班は8月7日（金）のレッスン日に、「見上げてごらん」「U Boj!」をアカペラで歌い、今回で再開後2回目、しっかり歌ってアカペラで聴かせる曲へ頑張りましょう！

休憩中、立川事務局長からの連絡事項の報告がありました。

休憩後、引き続き、伊藤副指揮者の指揮で、「死んだ男の残したもの」「朝露」の2曲に集中してレッスンしました。伊藤指揮者からは、「この2曲は何度も歌っている曲。指揮者からの曲への注文、ことばや発声上の指摘は頭に入れて！大事なところはしっかりメモする、暗譜で歌えて合わせられるよう！」

また、本並先生からは、「次のレッスンに歌う曲名は計画通りに進まない、事前に月次計画での曲名の発表は難しい。どの曲も歌えるように自己レッスンに励んでほしい」とのアドバイスがありました。戦後75年、今この時期に歌うにふさわしい反戦・平和を願ううたを歌いました。

### 連絡・報告事項

(1) 2019年度昴総会のお知らせ

2020年8月30日（日） 9：30～11：30（会議はできるだけ2時間で！）

新大阪ココプラザ505号室（地下鉄・JR新大阪駅より徒歩5分）

集合時間：9：20 「昴総会議案書」を8月21日に配布します。当日までに団員全員に配布予定。事前によく読んで総会に出席ねがいます。

(2) 「定例レッスン参加者割り振り表 9月～12月」について

各パート別に、A班・B班とわかれています。各パートリーダー・マネージャーは

レッスン参加者の確認と当面「9月レッスン割り振り表」を連絡願います。(山本宏司まで)

(参考) **みんなのうた** 【作詞】関西合唱団  
【作曲】原田 義雄

1. ひとりの歌も うたってきたさ  
みんなのうたは とてもすばらしい  
※いつかまた会おう  
今日のように歌いながら  
いつかまた会おう  
すばらしい仲間と
2. さみしい時も 涙の夜も  
みんなのうたは いつもここにある  
※繰り返し
3. 恋する歌も たたかう歌も  
みんなのうたは いつもひびいてる ※繰り返し

70年代、愛知での日本のうたごえ祭典大音楽祭最後の全員合唱で、何千人もが総立ちになり、心をつにして腹の底から歌い交わしたこの曲、当時の迫力は相当なものでしたでしょうね。作者はその後1年をかけてこの曲を完成させたそうです。

それだけに、関西地区のうたごえでは、必ずこの曲が歌われているようです。「必ず」といっても、京都のRedStoneと大阪のPeople'Sしか知りませんがね、(^ ^)

「[うたごえの歴史](#)」で書いたのですが、60年代の「うたごえ」が廃れた原因の一つに「世界は二人のために」を挙げてます。これは、60年代はグループというか集団というか、とにかくみんなと一緒に、というのが「うたごえ」を支えてきました。それが、ふたりだけの世界に入り込んでしまって、横のつながりが希薄になってきたわけですね。それが1番の歌詞に表れているのだと思います。

3番の「恋する歌」については、まさにうたごえの「[二人](#)」・「[どこまで〜](#)」・「[わたばこ〜](#)」のような歌だと思います。「世界は〜」は当HPには置いてませんが、これらと比べてみてください。ここでいう「恋するうた」は「世界は〜」のような歌でない事は間違いないです(ね)

(ヴァーチャルうたごえ喫茶 [のび](#))  
より検索してください! 「[のび](#)」

昴通信 No. 9

atomos.ezweb さんより投稿

「日本経済新聞」2020.8. 16号より

大阪府は15日、新型コロナウイルスの重症者が70人、前日より6人増え、70人になったと発表した。第1波のピークを上回り、過去最多となった。この倍以上になった。東京都は15日、新規感染者が151人、新規感染者が100人以上になる。府内の重症者はこれまで、国の緊急事態宣言が発令されていた4月19日、21日に記録した65人が最多だった。重症患者用の病床確保が、70代以上の感染者は124人、使用率は37.3%と、4月30日、37.6%以来の高水準となった。府の独自基準大阪モデルでは、同使用率が70%を超えるター(感染者集団が発生したとみられる大阪府泉大津市の高齢者施設などで70代以上の感染者が計23人確認された。多くは軽症または無症状だが、府の担当者は「高齢者は後々重症化するケースも多い」と警戒を強める。15日に確認された新規感染者151人のうち、感染経路が分からないのは88人で、58%を占めた。PCR検査などを014件、陰性率は除く実施し、陽性率は7.5%。府内の累計感染者は6698人となった。

# クラスター事例集

会議など  
発生分析

## 3密・マスクなし共通

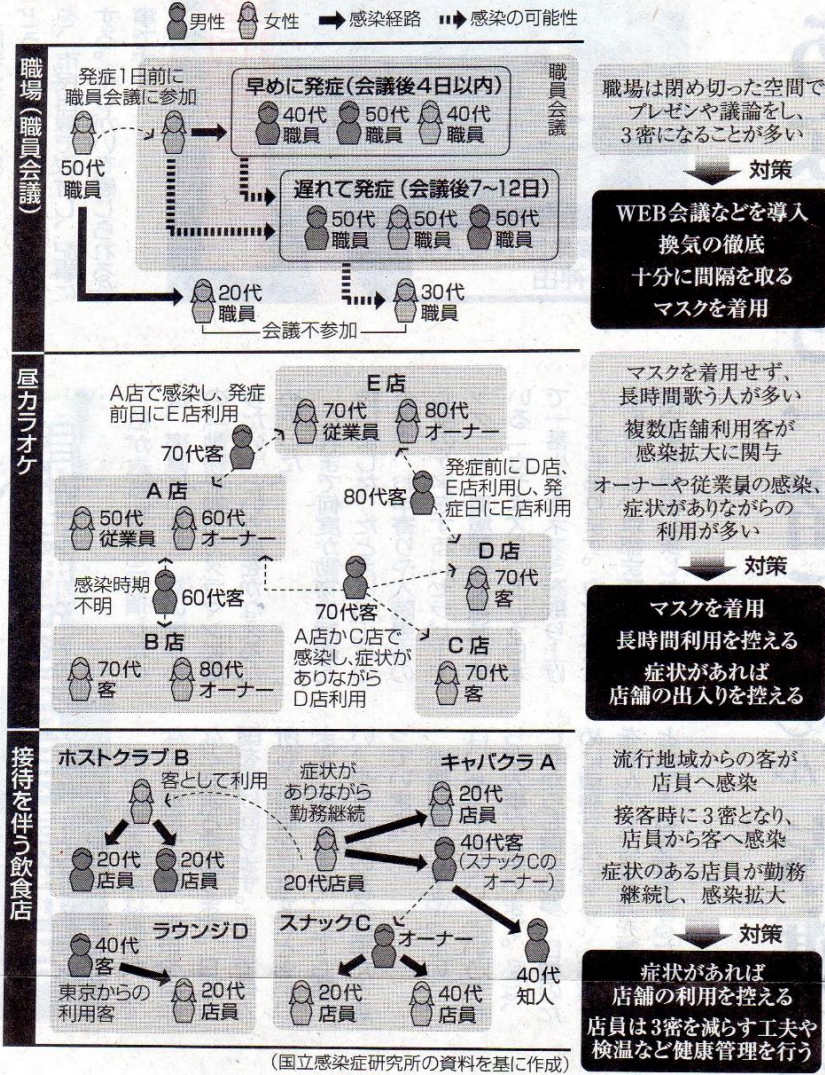
### 感染研が公表

国立感染症研究所（感染研）は15日までに、新型コロナウイルスのクラスター（感染者集団）の事例集を報道向けに公開しました。会議や昼カラオケなどで発生した実際のクラスターを分析し、「日常生活で3密回避とマスク、手洗いを徹底してほしい」と求めました。

0件程度のクラスターを分析しました。事例集によると、職場会議でクラスターが発生したケースでは、部屋の換気が十分でなく、参加者の距離が近い状態で、マスクを着用せずに議論してしまっていた。カラオケのある飲食店での「昼カラオケ」や接待を伴う飲食店では、3密、マスクを着用しない、症状のある人の利用や勤務、利用者が複数の店に行き、感染をを広げるなどの共通点がありました。

最近では寮生活や会食を通じた集団感染も目立ちますが、3密やマスクなしでの長時間の会話など、従来のクラスターとの共通点が見られるといえます。感染研は、せきやくしゃみに含まれるウイルスによる飛沫（ひまつ）感染、ウイルスに触れた手を介した接触感染に加え、換気の悪い空間にウイルスを含む小さな飛沫が漂うことによる「マイクロ飛沫感染」が起きていたと考えられると指摘しました。

### 新型コロナウイルスのクラスター発生例



(投稿)

しんぶん「赤旗」2020.8.16号より